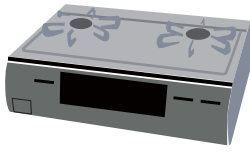

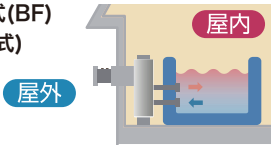


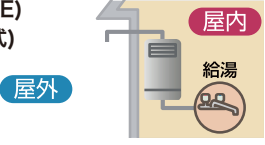
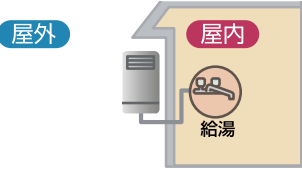


# ガス・石油機器について

## 燃焼方式による給排気方式の区分

● 給排気方式		● 燃焼方式(例)		● 燃焼方式(例)	
開放式	空気を屋内からとり、排気も屋内に出す方式	自然燃焼方式 	強制燃焼方式 		
密閉式	空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式	自然給排気式(BF) (自然燃焼方式) 	強制給排気式(FF) (強制燃焼方式) 		
半密閉式	空気を屋内からとり、排気を屋外に出す方式	自然排気式(CF) (自然燃焼方式) 	強制排気式(FE) (強制燃焼方式) 		
屋外式(RF)	空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式				

### ● 給排気方式とは

給排気方式は、「給気方式」と「排気方式」とを組み合わせた言葉です。給排気方式は、ガスや石油を燃焼させるのに必要な空気をどこからとり入れ、排気ガスをどこへ出すかによって異なり、「開放式」「密閉式」「半密閉式」「屋外式」があります。「開放式」「密閉式」「半密閉式」は、機器が屋内にあります。

### ● 燃焼方式とは

燃焼方式には、「自然燃焼方式」と「強制燃焼方式」があります。「自然燃焼方式」は、燃焼の給排気を自然の通気力に任せる方式です。「強制燃焼方式」は燃焼の給排気をファンなどを使って強制的に行う方式です。

### ● ガスの種類

ガスの種類には、大きく分けて都市ガスとLPガス(LPG)があります。都市ガスはさらに7種類に分けられ、12A、13Aはその種類の1つで、天然ガスとも呼ばれています。LPガスはプロパンガスを主成分としています。ガス機器には、その機器に合うガスの種類がラベルで表示されています。家庭で使用するガスの種類に合うものかどうか確認して下さい。

#### 省エネ性能一覧における記載値

ガス消費量やエネルギー消費効率などの値は、ガスの種類によって異なります。本カタログに記載されている数値は、都市ガス13Aに対応した値です。

### ● 石油と灯油

石油(原油)は、製油所でそれぞれ用途に適したLPガス、ガソリン、灯油、軽油等の石油製品につくりかえられます。家庭で使われている石油機器は、灯油を使用します。石油ストーブ等にガソリンを使用すると、火災になるおそれがあります。

### ● その他の用語

#### ガス消費量(kW)

ガス機器が単位時間あたりの燃焼で消費するガス量を、単位時間あたりの熱量(kW)で表しています。例えば、1時間に1m<sup>3</sup>の都市ガス(13A)を消費する機器であれば、ガス消費量は約13kW\*となります。

\*都市ガス(13A)の場合、ガス発熱量 = 46.05MJ/m<sup>3</sup>  
3.60MJ/kWhより、ガス発熱量 = 46.05/3.60 = 12.79(kW)

#### 燃料消費量(L/h)

石油機器が単位時間あたりの燃焼で消費する灯油量(L/h)で表しています。

#### エネルギー消費効率(熱効率)

一般的にガス・石油機器のエネルギー消費効率は熱効率\*で表します。消費したガス・石油の発熱量のうち、排気ガスが持ち去る熱量(逃げた熱量)が少なく、対象物に与えた熱量が多くなると、熱効率は高くなります。熱効率が100%に近づくほど、省エネ性が高くなります。

\*ガスこんろのグリル部、オープン部のエネルギー消費効率は、熱効率ではなく、1回あたりの調理に要するガス消費量で表し、その値が小さいほど、省エネ性が高くなります。

$$\text{熱効率 (\%)} = \frac{\text{対象物に与えた熱量}}{\text{消費したガス・石油の発熱量}} \times 100$$

